

青田知史町政報告

令和3年12月1日発行 第9号

自治基本条例勉強会（11月18日、24日、30日）

自治基本条例についての議員の勉強会が、11月18日と24日、そして30日の臨時会終了後に開催されました。参加は任意でしたが18日は12名、24日は10名、30日は全員の議員が参加し、議会のあり方を含めて自由討議が行われました。

町長の公約でもあるこの条例については、私も以前一般質問で取り上げましたが、その後のまちづくり委員会の策定専門部会で熱心に議論がされたり、勉強会が開かれている様子についても随時議事録で確認するなど関心を持っていたところです。

しかし、7月の策定専門部会まで出席し部会の知恵袋的な存在でもあったはずの水澤雅貴氏が、急にアドバイザーを辞めたことから、その理由について問い合わせをしてくる方や、策定専門部会の今後を不安視する方の声も私のところに寄せられました。また、条例の必要性や策定のプロセスについての疑問やご意見も伺いました。25日に開催された議員協議会でもこの条例についての説明がありましたが、現在のところ、策定専門部会のメンバー以外の町民の皆様が意見を述べたり質問をするには、広報に折込になっている自治基本条例ニュースに記載があるように、メールや電話で行うようになっています。しかし、検討する事項も多く簡単な内容ではないため、また関心が薄いためなのか質問や意見等含めて問い合わせは無いようです。

町長は令和2年9月定例会の私の一般質問に対して、次のように答弁をしていました。

「議論が始まっていますのは専門部会でございますけれども、全てがそこで決まる訳でございません。今後、様々な町民各層の方々のご意見を賜りながら、議論を深めてまいりたいと考えているところです」

答弁から1年が過ぎ、そろそろ美瑛町のまちづくりにご尽力いただいている各種団体の方や、平成15年に現行の自治基本条例に関わった方々の思いなども含めて、より多くの皆様と自治基本条例に関する情報を共有し、議論を深める時期に来ているのではないかと思います。

公式ホームページのご案内

私の町政報告と、日々の議会活動をお知らせするために、公式ホームページを作りました。この町政報告と合わせて町民の皆様と町政の情報を共有したいと考えています。またご意見や、ご質問などありましたら、どうぞお気軽に声をお寄せください。

町政に活力を！ まちづくりに希望を！

aota-tomofumi.com（公式ホームページ）

青田ともふみ公式

検索



QRコードでアクセス

第9号の内容

☆特集：町民まちづくり提案事業

◆①青田が議会でとりあげた提案

◆②町の財政状況と予算の壁

☆昼下がりのコラム

☆町政の理解を深めるキーワード

☆次号の予告

※この町政報告やホームページの内容は全て議員個人の見解、意見であり、美瑛町議会の見解、意見ではありません。

◆特集 町民まちづくり提案事業 ①青田が議会で取り上げた提案

角和町政になってから始まった「町民まちづくり提案事業」。令和元年度は**55件**、令和2年度が**21件**、そして今年度が**15件**というように**提案件数は減少傾向**にあります。令和3年度については現在検討中ですが、これまで事業化された件数は5件と提案が採択されることはなかなか難しいのが現状です。私も施策として取り組むべきと判断した提案については、実現のために一般質問の中にも取り上げるなどして町長の考えを質してきました。

〇〇〇 一般質問で取り上げた提案と町長の答弁 〇〇〇

令和元年 第8回定例会 以下○×△は結果

- ①「高校へ通う子どもたちすべてに支援」○
- ②「習い事支援」×
- ※「医療費18歳までの無償化」(町民要望)○

一般質問は「持続可能な地域づくりのために必要な美瑛高校魅力化」についてでした。

町長「前向きなご提案をいただいた。議員ご指摘のような不公平感や不平等感がお持ちであるということは深く認識。その不平等感を解消することも必要であり、美瑛町の高校生、美瑛町民の高校生を等しく支援し、子育てしやすい、また学びやすい環境を作っていくということは、行政の大切な役割」

⇒左の①と※について事業化

令和2年 第1回定例会

- ①「奨学生ふるさとUターン促進奨学金免除制度」△?

一般質問は「ふるさと納税を効果的に町政に活かす施策展開について」でした。この質問では福島県いわき市の奨学金返還支援制度を参考に、企業版ふるさと納税を活用して町民の提案を事業化できないかを町長に質問しました。東川町では、企業版ふるさと納税を活用した給付型奨学金の制度があります。

町長「経済的に困窮されてるご家庭への支援という位置付けになるのか、美瑛町に卒業後来てもらうという移住促進の位置付けにするのか等々、色んな面で精査して整理しなければいけない面があり、今回は見送りとしたが、非常に有用なご提案だと思っているので引き続き検討はさせていただきたい。その中で、企業版ふるさと納税の対象事業の一つとして掲げるという戦略は、財源面の確保からはそういうようなこともできるのかと感心しながら（一般質問を）聞いていた」⇒検討継続中か?

令和2年 第9回定例会

- ①「小児科医誘致」(予防接種のポイント化)×
- ②「スケートパーク」△

一般質問は「町民の更なる健康増進のための施策展開」と「スポーツ振興の課題と多様化について」でした。小児科医の誘致が難しいとしても、予防接種で旭川の小児科などに通院するケースや健康マイレージを電子通貨のポイントに出来ないか質問。またスケートパークは、町内に滑る場所がなく、事故やトラブルも想定されることから、町としての今後の取り組みについて質しました。

町長「健康マイレージや通院等について、それを地域通貨でポイント化できないかという点については、担当課の方で検討させていただきたい。予算編成の中で、様々な担当課の中で何がポイントとして付与できるのかというのを検討してる最中。貴重なご提案として承りさせていただきたい」⇒結果×

「経費等の問題もあり、競技人口というのか、どの程度のニーズがあるのかと多面的な面から検討しなければいけないなと思っているので、その辺りも含めて今後検討していきたい」

⇒後日担当課が提案者と協議して、令和3年度は、スポーツセンター駐車場等の敷地をバリアードやスコッチコーン等で区分し、開放日時等を設定した上で、スケートボードやインラインスケート等、自由に活動できるスペースを設けることで検討を進めることとなりました。スケートボード体験会も大盛況！来年度以降に期待しています！！

スケボーのニーズを把握するために企画した「美瑛町ジュニアスケートボード体験会」の様子は、YouTubeでご覧いただけます。右のQRコードからアクセスできます。ぜひご覧ください ⇒⇒⇒



②町の財政状況と予算の壁

町民まちづくり提案事業が減少傾向にある理由は、**提案しても事業化されないこと、採択率が低い**ことにあるような気がします。採択されると予算案として議会に提案されて、議決を経て事業化されますが、色々調べたり、資料をまとめたりして作成した提案も事業化されないと、「せっかく提案したのになぁ・・・」きっとそう思うはずです。私も同じなのでよく分かります。

先日、母子家庭などの**ひとり親家庭医療費等助成事業**について教えてもらおうと役場に行きました。保健福祉課では、親に対しての助成は入院のみとなっているが通院を含めて助成することが可能かどうか、可能であればその財源には何が考えられるか確認してきました。

多くの自治体は、美瑛町と同じように親の場合は入院のみの助成となっているのですが、恵庭市や稚内市、上川町などは親の通院も含めて独自で支援を行っています。担当課長さんと係長さんお二人と話をしてみえたのは、やはり「**予算の壁**」です。親の入院に対しての助成までは道の補助がありますが、それを通院にまで拡大するといわゆる**【単費】**(町の自主財源)で行わなければならないため、限られた財源の中でやりくりするのはなかなか難しいようです。

課長さん曰く、「何かをやれば、何かをやめないとならない時代なのかもしれないですね」と。

町の財政は長期的に見ると公共施設やインフラの維持更新のために多額の費用が必要となり、財政的に厳しい状況になっていくことが予想されています。「財政は数字に凝縮された住民の運命」という言葉があるそうですが、町の財政が多くの町民の皆様の生活に良くも悪くも影響することは確かです。あらためて皆様の提案(思い)と町の財政(財源)をていねいに比較衡量しながら検討していく必要性を感じています。

昼下がりのコラム「中国茶」

おいしい話?を一つ。昨年美瑛に移り住んで最近お近づきになった高橋さん親子。お母さんが中国茶のインストラクター資格を持っていて、私の職場であるアトリエジョバンニ(本町1丁目)を会場に、月曜日と木曜日の午後3時から無料でお茶の会を開いてくれています(要予約)。

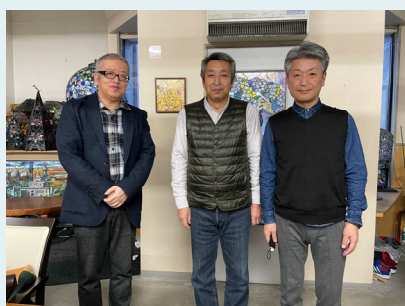
高橋さんのお仲間に始まり、林祐作道議会議員、林道議の大学の先輩にあたる道銀美瑛支店の近藤真司支店長、情報交換のために来町した東神楽町の清野修一町議会議員、比布町の今井明信町議会議員と、私もお茶を楽しみながら親交を深めました。

日本茶や紅茶もルーツをたどると中国にたどり着くようで、1時間ほどのお茶会では、福建省産の茉莉仙女(まつりせんによ)、台湾南投県の凍頂烏龍茶(とうちょううーろんちゃ)、広東省産の鳳凰単叢蜜蘭香(ほうおうたんそうみつらんこう)、台湾北部の東方美人(とうほうびじん)等々の珍しいお茶と、サンザシなどのドライフルーツ類やデイセンターすずらんさんのクッキー(美味しく大人気!)がお茶請けとして一緒に出されます。お茶の効能もそれぞれあるようで、ヘルシーなお茶の話聞くこともできるお茶会です。是非一度いらしてみませんか?

道銀の近藤支店長と林祐作道議



青田・清野町議・今井町議



お茶会の様子(11月22日)



町政の理解を深めるキーワード 「全国ひとり親等世帯調査」

11月にある全国調査が行われていました。その調査は、「令和3年度全国ひとり親等世帯調査」という名称で、全国の母子世帯、父子世帯、父母のいない児童のいる世帯の生活の実態を把握し、ひとり親世帯等に対する福祉対策の充実を図るための基礎資料を得ることが目的に、おおむね5年周期で行われています。

同じ11月に、京都女子大学の学長である竹安英子先生の講演をオンラインで聴く機会がありました。講演は、「女子大学の教育を考える～ジェンダー平等の実現に貢献する女性人材養成～」という講題で、明治時代に女子高等教育に情熱を燃やした3人の教育者の話に始まり、明治時代の女性は男性の従属者としての位置づけで、法の下でも不平等な時代（法的には無能力者）。そして、実は現代においても我が国では男女格差（ジェンダーギャップ指数）が、世界153か国中120位と低位にあると指摘していました。

深刻なのは、ひとり親世帯、特に母子世帯の経済状況だと説明がありました。不本意ながら非正規雇用で働かざるを得ないケースや、養育費の取り決めをしていない（もらえない）ケースなどから子どもの生活にも影響が出ているケースもあるようです。美瑛町ではどうでしょうか？さて12月定例会ではひとり親世帯の支援の考え方について、一般質問で取り上げる予定です。

【母子世帯と父子世帯の状況】

	母子世帯	父子世帯
1 世帯数 [推計値]	123.2万世帯 (123.8万世帯)	18.7万世帯 (22.3万世帯)
2 ひとり親世帯になった理由	離婚 79.5% (80.8%) 死別 8.0% (7.5%)	離婚 75.6% (74.3%) 死別 19.0% (16.8%)
3 就業状況	81.8% (80.6%)	85.4% (91.3%)
就業者のうち 正規の職員・従業員	44.2% (39.4%)	68.2% (67.2%)
うち 自営業	3.4% (2.6%)	18.2% (15.6%)
うち パート・アルバイト等	43.8% (47.4%)	6.4% (8.0%)
4 平均年間収入 [母又は父自身の収入]	243万円 (223万円)	420万円 (380万円)
5 平均年間就労収入 [母又は父自身の就労収入]	200万円 (181万円)	398万円 (360万円)
6 平均年間収入 [同居親族を含む世帯全員の収入]	348万円 (291万円)	573万円 (455万円)

※グラフは平成28年全国ひとり親世帯等調査より () 内の数字は平成23年度調査結果

☆☆☆次号の予告☆☆☆

「内容が難しいし、固くてなあ」「もっと気楽に読めるのを書いた方がいいんじゃないか」「くすっと笑えるような内容も入れたらいいよ。失敗談とか(笑)」「行も文章もつめすぎでは?」「よく書いてると思うけど頭に入ってこなくて」…。この11月に、私の町政報告に対して4人の町民の方から感想とアドバイスをいただきました。試行錯誤で発行を始めたこの町政報告ですが、ご指摘ごもっともと受け止めています。写真などを多めにダイジェスト版的なページを入れようか思案中です。新年はもっと分かりやすく、ためになる、楽しい「町政報告」となるように、まだまだ発展途上ではありますが、継続して発行していきます。次号は、12月定例会を中心に、希望あふれる新年を迎えることができるような報告をと思っています。今後ともよろしく願いいたします。